

# 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成23年11月21日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4676800172号
法人名	有限会社コンフィアンス
事業所名	グループホームふれあいの丘
所在地	鹿児島県志布志市志布志町志布志1330番地 (電話) 099-473-8113
自己評価作成日	平成23年11月15日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>【グループホームふれあいの丘 基本理念】 介護される人も、する人も共に生きられる地域社会をめざして</p> <p>【グループホームふれあいの丘 ケア理念】 1. 家庭的な環境の中で穏やかに安らぎのある暮らしをめざす 2. 個性を見だし自信と自立を高めるケアをめざす 3. 家族の温もりを感じる様なケアをめざす</p> <p>日々変わる入居者様の状況、レベル低下により出来る活動が限られている中、一人ひとりの能力・可能性を探しながら、穏やかに生活できるようすすめております。よいケアが出来ているか自信はありませんが、スタッフが日々葛藤し、努力している様子を見ていただけたら幸いです。よろしくお願い致します。</p>
---

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成23年11月29日

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>志布志市の郊外で閑静な高台の住宅地に立地している。敷地内には同法人の有料老人ホームやショートステイを併設し、災害時の協力体制が築かれている。看護師による利用者の健康管理が家族の安心に繋がり、重度化・看取りの対応方針も明確にしている。野菜をふんだんに使った食事の提供や利用者の身体状況に合わせた食事形態など家族の感謝も伺われる。また、フローリングの居室は、利用者のこれまでの生活習慣、本人の希望により畳敷きに改装されている居室もあり、利用者が居心地良く暮らせるように配慮されている。</p> <p>新しい管理者のもと、今後のグループホームとしての独自の取り組みや更なる質の向上を目指して職員育成にも意欲が伺えられる。</p>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	「介護される人もする人も共に生きる地域社会を目指して」という理念のもと日々ケアにあたっている。職員も内容を理解し、地域密着型サービスの意義を確認している。	法人の理念を基に、グループホーム独自の利用者も理解できるような分かりやすい文言の目標を作成して、共有と実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	理念を掲示し、入居者様と日々の目標として話をしており、生きがい作りへとすすめて行きたいと考えています。	法人全体の催し物に近隣の方々も招待して、交流の機会にしている。また、対話ボランティアの訪問や近くの保育園児との交流もあるが、事業所自体が地域の一員として日常的に交流しているとは言い難い。	災害時の協力にも繋がることから、事業所自体が地域の一員として日常的に交流できるように今後の取り組みに期待します。
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	敬老会・秋祭り等の行事の際や対話ボランティアの方など交流により、認知症の方の対応の仕方や姿勢などを地域住民へ周知・情報発信が出来ているのではと考えております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	7/15と9/18に実施している。	市議員、民生委員、家族代表、行政などの出席で開催しているが、現在のところ、定期的な開催に至っていない。	外部評価結果や事業所活動状況や利用者の状況、ホームとしての改善の取り組みなどを報告し、これについての評価、助言、事業所と地域との交流促進のための話し合いなど有意義な会として、今後の取り組みに期待します。

鹿児島県 グループホームふれあいの丘 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に参加を依頼し、助言をいただいております。	報告や相談などで連携を図り、協力関係を築くように取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	当社組織に「リスクマネジメント・教育委員会」という組織がありそれが身体拘束改善委員会をかねております。委員会が研修会を設けたり、日々啓蒙活動をしております。ヒヤリハット事例のデータ収集などを行い、改善に努めております。	毎月職員会議の中で、身体拘束についての内部研修を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。危険が伴うケースについては家族に同意をもらっている。日中は施錠などせずに出て行く利用者には職員が着いて行くなどして見守っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	上記同様、「リスクマネジメント・教育委員会」という組織により周知徹底をしております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、制度活用している方はおりません。内容的にも難しいところがあるので、外部研修会等にも積極的に参加したいと思っております。		

鹿児島県 グループホームふれあいの丘 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際は十分に時間をとり説明している。納得いただいた上で利用していただけるようお話しております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族来訪時や、文書・電話連絡にて随時状況報告し、共にケアをするという姿勢・雰囲気づくりを心掛けています。	重要事項説明書に苦情受付窓口を明記している。また面会時に、電話連絡時などに職員が話をする機会としている。3ヵ月ごとにホーム便りを作成して、行事の様子や「認知症の理解」の欄を設けて、家族へも啓蒙している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、社内職員全体会議やスタッフミーティングを持ち、日頃から職員とのコミュニケーションを図るよう努めております。	毎日の朝夕の申し送り時や、毎月の会議で話し合いを行っている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	スタッフ不足で余裕を持った人員配置とはいかないが最低限の人員は確保している。疲労・負担のかからないよう、派遣社員等の雇用も始めました。ゆとりのある丁寧なケアをすすめるべく、今後も取り組んで生きます。		

鹿児島県 グループホームふれあいの丘 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部研修も講師を事業所にお呼びし開催したり思考を凝らし進めております。外部研修も、「年度内、スタッフ一人1研修必ず参加」を掲げ、実施しております。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>当社は、志布志と鹿屋に事業所があり、両事業所で交換派遣ケア研修を計画しております。他事業所とのスタッフ交流・ネットワーク作りも模索しているところです。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	相談を受け、まず最初の面談の際利用者本人の思い・気持ちを時間をかけ話しをお聞きするようにしている。それを持ち帰りスタッフとカンファレンスを実施し、入居者が不安を感じることはないように「寄り添うケア」を心掛けている。また入居者様から学んだり、支えてもらうこともあります。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	まず現在のご家族のケアに関する悩み等をじっくりお聞きするようにしています。その中で専門職として、認知症ケアのアドバイスを交えながら、気持ちの負担軽減に努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その時にまずどのようなサービスが必要かを判断が難しいが、スタッフにて十分に検討し、状況に応じては他事業所と連携をとるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者ご本人の思いに耳を傾け、共感・理解しあえる関係作りを心掛けています。		

鹿児島県 グループホームふれあいの丘 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ケアによっては判断に迷うことがあるが、ご家族にも、状況をお話し共にケアの方向性を考え連携できるよう努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	お彼岸には、お墓参りの同行支援をしたり、主治医の変更はなるべく行わずかかりつけ医へ継続受診をする体制をとっています。	希望があれば美容室やお彼岸のお墓参りに連れて行く利用者もいる。また、友人や知人の訪問もある。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士またはスタッフとのかかわりの時間を多くとるよう心掛けています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用が中止になった方へお礼分を出すなど、また気軽にホームへ立ち寄ることが出来るよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々、ケアの関わりの中で声掛け・聞き取りしご意向に副うよう進めています。聞き取り困難な場合は、十分に観察し対応しています。	会話の中から思いや意向を把握し本人本位に検討している。困難な場合は表情や言動などから把握するようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族やこれまでに関わりのある方への聞き取りを行うよう事細かに行うよう心掛けています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	これまでの生活スタイルを聞き取りし、ホームでの声掛けや状況を見ながら、その方の能力を見るようにしています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	スタッフのこだわりや狭い考え方にならないよう、ミーティングの内容を反映するよう努めています。	本人や家族の思いや希望など反映した本人本位の介護計画を作成している。定期的（6ヵ月）な見直しと変化があれば都度見直しを行って現状に即した介護計画を作成している。	



鹿児島県 グループホームふれあいの丘 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別にファイルを用意し、食事、水分、排泄等日々のホームでの生活、エピソードを記録している。いつでもスタッフが情報を確認できるようにしている。また連絡帳や申し送り表を活かし確認・把握できるようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者本人及びご家族の状況に応じ、相談・助言等行っている。また併設の有料老人ホーム、ショートステイでどんなサービスが受けられるのか等、説明・紹介を行っている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進委員に民生委員・市議会議員と行政の方に入っただけいている。多岐にわたる助言をいただき支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の変更はなるべくせず、継続受診を心掛けている。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。また、ホームの看護師による健康管理が密に行われている。	

鹿児島県 グループホームふれあいの丘 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>医療連携加算を申請しており、社内他事業所の看護職員との連携や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>協力医療機関医に随時相談し、入院が必要な場合は地区医師会医等の協力体制をとっていただいている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>ターミナルケアへの移行時は、十分にご家族へ説明し、ご理解いただいた上で訪問診療・訪問看護等を利用しながら進めております。</p>	<p>重度化や終末期に向けたホームの方針をパンフレットに明記している。これまでに看取りの経験もあり、職員も方針を共有している。緊急時の対応についての勉強会も毎年行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時対応マニュアルを見ての勉強会や心肺蘇生法の研修会を救急隊の方にしていただくなどスキルアップに努めています。</p>		

鹿児島県 グループホームふれあいの丘 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災避難訓練を消防署立会いで年2回実施し、地域住民の参加要請を次回執り行うよう進めております。</p>	<p>隣接する法人の施設と合同で避難訓練を行い、協力関係が築かれている。スプリンクラー、自動通報装置も設置済みである。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日々、勤務中、勉強会、カンファレンス等関わりの中でスタッフ同士で意識付けをし、誇りやプライバシーを傷つけないように心掛けています。	定期的に研修も行って、職員の資質の向上に取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	その入居者様に合わせた声掛けをし、自己表現が困難な方に対しては、表現や声のトーンなどを読み取り、意向をくみ取れるよう支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な流れはあるが、時間を区切ったすごし方はしていない。入居者様の体調はもちろん、気持ちの面も考慮し、その方にあわせた時間ですごせるよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	基本的には、出来る限り本人の意向で決めている。スタッフは入居者様が身支度が困難な場合サポートしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一緒に買い物に行き「今日は何にする？」等声掛けしメニューづくりから食材選びも共に取り組んでいます。食事と共に会話を交えながらおいしくいただけるよう雰囲気作りも大切にしております。	らっきょう、梅干しなどの漬け方やそばうち、もちつきなど利用者にアドバイスをもらいながら共に行っている。また、誕生日は利用者の好みの献立にしている。	

鹿児島県 グループホームふれあいの丘 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立表作成、食事・水分摂取量のチェックも行っております。その方の状態や嗜好その他を把握し、対応しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアの支援・介助はその方に応じてなるべくご自分でしていただくよう進めております。訪問歯科診療を取り入れており、ご指導をいただいております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄・水分摂取チェック表により把握をしています。排泄がご自分で出来ない方も、チェック表を参考に声掛け・誘導をしています。	日中もおむつ使用の利用者もいるが、職員の声かけ誘導でトイレでの排せつを支援している。自立している利用者もおり、継続できるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事内の水分、繊維質の食べ物等取り入れたメニュー作りを心掛けています。散歩等適度な運動と主治医からの助言等頂ながら対応しております。		

鹿児島県 グループホームふれあいの丘 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入居者様の希望や体調等を考慮し、ゆっくりと入浴していただいております。	週3回、午後からが入浴となっている。身体状況に応じて、隣接の施設の特浴を利用することもある。入浴拒否の利用者には声かけやタイミングで工夫して入浴してもらっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様の体調や状況にもよりますが、日中は離床を心掛け、夜間ゆっくりと休んでいただけるように支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師だけでなく、全スタッフでミーティングや受診時にご指導をいただいたりして理解を深めるようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物たたみ他その方が出来る家事をともに行ったり、季節の行事(梅干・らっきょう漬け、そば打ち、つわむき)等経験や知恵を發揮できる場所を提供している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物、墓参り、美容室他ご家族の協力をいただきながら希望に副えるように支援をしています。	日常的には散歩や買い物同行などで戸外に出かけられるように支援している。個々の希望に応じてお墓参りや美容室に出かける利用者もいる。初詣、ドライブを兼ねてコスモス見学に出かけることもある。	

鹿児島県 グループホームふれあいの丘 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理はスタッフが行うが、買い物や受診外出の際は、出来る限りご本人から</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族や友人に気軽に電話しやすい環境をつくり、雰囲気作りに努めている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節に応じ花を飾ったり、時には音楽を流し雰囲気作りをしたりしています。</p>	<p>共用空間は、落ち着いた雰囲気ので吹き抜けになっているため換気も良く、開放感がある。リビングの壁には行事ごとの写真などが飾られている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>フロアを自由に動けるスペースを確保しておりソファや簡易の畳をおいたり、状況に応じて対応しております。</p>		

鹿児島県 グループホームふれあいの丘 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者様の好みや、生活スタイルに合わせて自宅で愛用されたものを持ち込んでいただくようにしている。タンスやベッドの位置等ご本人・家族と相談し使い勝手のよいように努めている。</p>	<p>基本はフローリングであるが、利用者のこれまでの生活習慣や希望により、畳敷きに改装している居室もある。また、ベッドやいす、仏壇などが持ち込まれている居室もある。パンフレットに使い慣れた物品などの持ち込みについて明記しているが、比較的持ち込みが少ないのが現状である。</p>	<p>グループホームを生活の場として捉えて、荷物の少なすぎる利用者には家族の理解を深め、利用者の使い慣れた家具や物品など持ち込んで頂き、より家庭的な居室となるように今後の働きかけに期待します。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ご本人の状態をみながら、不安や混乱を起こすような物等がないよう、配慮し穏やかに生活できるようミーティングを重ね対応しています。</p>	/	/



V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホームふれあいの丘 1ユニット

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホームふれあいの丘 1ユニット

66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない